# 年度経営計画（2023(令和５)年度）

新潟県信用保証協会

１．業務運営方針

当協会は、経済社会情勢が大きく変動し、中小企業・小規模事業者（以下、「中小企業者」といいます。）を取り巻く環境が厳しさを増す中、これまで以上に中小企業者に寄り添い、金融円滑化や経営改善に資する新しい価値を提供していくため、令和４年度に立ち上げた新たなブランド「“ともに”の姿勢による経営支援（ともに、その先へ。）」の確立に向けて、令和５年度の業務運営方針を次のとおりとします。

当協会は、「第６次中期事業計画（2021(令和３)年度～2023(令和５)年度）」の基本方針のとおり、金融セーフティネットとしての機能を発揮するため、ゼロゼロ融資の返済本格化を見据えて、「伴走支援型特別保証制度」をはじめとする政策保証を活用した借換等による金融支援に一層取組みます。あわせて、経営改善に向けたスプリングボードとしての役割を果たすため、「特別経営支援チーム」を設置し、金融機関や関係機関等と適切に連携しながら、中小企業者の収益力改善に向けて経営支援・再生支援にも積極的に取組みます。また、代位弁済に至る中小企業者の増加も予想されることから、効率性を重視した管理回収を徹底することで全体としての回収の最大化を図り、一方で、求償権顧客の事業再生・再チャレンジや生活再建につながる管理回収業務を展開していきます。さらに、人口減少、高齢化が地域社会に与える影響やＩＣＴの著しい進展に伴うデジタル社会への変革等、金融環境や社会環境の大きな変化に対応した業務態勢を整備し、適切に施策を講じていきます。

このため、業務改革への取組を一層推進し、地方創生の視座も踏まえつつ、以下の事項を主要項目として取組むこととします。

（１）金融セーフティネット機能の発揮と経営改善へのスプリングボードとしての機能強化

感染症等の影響により過剰債務を抱える中小企業者に対して、業況やライフステージ等の個別企業の実情に応じた資金繰り支援及び伴走型の経営改善支援を積極的に行うとともに、信用保証の利用価値向上に取組みます。

（２）効率性と求償権顧客の再起につながる管理回収業務の展開

初動対応を徹底し、効率性を重視した管理回収業務を展開していくとともに、求償権顧客の事業継続や生活状況等の個々の実情を踏まえ、再起に向けた支援に取組みます。

（３）急速かつ非連続的な環境変化への対応

急速に進展するデジタライゼーションや、感染症をきっかけとした社会の変容等を踏まえ、引き続き地域経済社会の持続的発展に貢献できるよう、業務改革を着実に進めるとともに、人材育成や組織の活性化を進め、組織力の維持・向上を図ります。

## ２．重点課題

業務運営方針に基づき、各部門における以下の課題について重点的に取組みます。

【保　証　部　門】

（１）個別企業のニーズと実情に応じた資金繰り支援の強化

（２）信用保証の利用価値の向上

【期中管理・経営支援部門】

（１）感染症等の影響を受けた中小企業者への収益力改善に向けた経営支援・再生支援の取組強化

（２）経営支援の実効性を高めるための効果検証等の取組

【回　収　部　門】

（１）効率性を重視した管理・回収の徹底

（２）求償権顧客の実情を踏まえたきめ細やかな対応

【その他間接部門】

（１）ガバナンスの徹底

（２）組織イメージの向上に向けた取組

（３）業務改革の推進

（４）組織活性化への取組

３．事業計画

| | 計　画　金　額 | 前年度計画比 |
|---|---|---|
| 保　証　承　諾 | １，６００億円 | １２３．１％ |
| 保証債務残高 | ５，４５０億円 | ８３．７％ |
| 代　位　弁　済 | ６８億円 | ８２．９％ |
| 実　際　回　収 | １４．５億円 | １００．０％ |